

予算決算

委員会
ニュース

特別 会計当初予算
特別 会計補正予算

新年度予算の使い道を
議員全員で審議

問 おしゃれなまさき推進事業の取り組み内容は。

答 まちづくり女性会議で、若い世代に住んでみたいと思ってもらえる、快適で、文化的で、おしゃれなまちづくりのアイデアをまちづくりに活かしていく。

一方、提案のあった事業を、デザイン関係の有識者の女性から選ばれた、「おしゃれなまさき審査委員」が審査をする。

なお、おしゃれ予算として工事費700万円を計上している。

意見

おしゃれなまちづくりは、ハードを基本にしているが、今後、子育て支援等のソフト面にも視野を広げてほしい。

問 防災備蓄品の保管する数量は。

答 県の被害想定を基準に、飲料水は2年保存。食糧などは5年保存。1食、1万2千人分を備蓄する。

意見

災害に備え備蓄品の確保も必要であるが、自衛努力が基本であることを啓蒙していただきたい。

問 ゼロ予算事業は、事業費はゼロでも職員の負担は増える。一生懸命に取り組んでいる職員に対して、評価できる制度を導入しているのか。

答 職員の視点での事務改善を図る職員提案制度には人事評価で反映している。

問 建築確認申請等事務取扱交付金の手続きは。

答 建築確認申請等に関しては、松前町は進達機関であり、提出された申請書に進達書を添付して愛媛県に送付した場合に県から交付される。

問 台地泉公園整備に至る経緯は。

答 平成24年に、地元からの整備要望があり、平成25年度に実施設計をし、県の河川占用許可を得た。

その後、整備工事にあたり、補助金等の財政支援が得られるよう検討していたが、該当するメニューがなかった。

平成28年度に国の第2次補正予算に、地方創生拠点整備事業が盛り込まれたことで活用を検討した。

しかし、補助金等の活用は難しいと判断し、地元の意向を再確認した上で、今回、台地泉公園整備費の事業費を計上した。



おしゃれなまちづくりのシンボル「義農橋」



これから整備する台地泉